

札幌市立真栄小学校
学校便り 特別号
令和8年11月20日

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果

令和8年4月23日に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）について、本校の結果概要をお知らせいたします。今回の結果を、学校全体の課題として捉え、今後の指導に生かしてまいります。今回の結果を基に、日常の指導方法を工夫することや、御家庭との連携を進めることを本校の課題として、改善を図っていきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解ください。

児童質問紙調査

【全国平均と比較して肯定的な回答の割合が大きく上回っている質問項目】

・毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。
・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
・PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。
・５年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか。
・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。
・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

【肯定的な回答が、全国平均と比較して大きく下回っている質問】

・自分にはよいところがあると思いますか。
・人が困っているとき、進んで助けていますか。
・学校に行くのは楽しいですか。
・友達関係に満足していますか。
・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。
・わからないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
・５年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
・５年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

国　語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
〔知識及び技能〕 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・ 全国平均を下回っている。	● 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。	○比喩や反復、倒置などの様々な表現工夫への気付きをまとめて整理したり、そのよさや効果について整理したりする学習の充実。
□「情報の扱い方に関する事項」 ・ 全国平均を下回っている。	● 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	○文章を理解するために必要だと判断した複数の語句を丸や四角で囲んだり、関係する語句と語句とを線でつないだりするなど、目的に応じて、図示しながら情報を整理する学習の充実。
〔思考力、判断力、表現力等〕 □「話すこと・聞くこと」 ・ 全国平均を下回っている。	● 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関連付けたりして、紹介する内容を検討する学習の充実。
□「書くこと」 ・ 全国平均を下回っている。	● 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	○引用する目的を明確にした上で、原文に正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にして、区別して書き表し方を工夫する学習の充実。
□「読むこと」 ・ ほぼ同程度であるが、全国平均をやや下回っている。	● 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	○文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既有の知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを形成する学習の充実。

算　　数

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
□「数と計算」 ・ 全国平均を下回っている。	● 数を四捨五入して、概数で表すこと。 ● 整数と小数の減法の計算をすること。 ● 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること。	○概数を実感的に捉えられるように、数直線を用いて数を四捨五入して概数で表す学習の充実。 ○小数の加法及びイ減法は、小数の仕組みの理解に基づき、整数と同じ原理、手順でできることを理解できる学習の充実。 ○分母を揃えたり、小数で表したりして、異分母の分数の大きさを比べることで分数の表し方の理解を深める学習の充実。
□「図形」 ・ 全国平均を下回っている。	● 立方体の体積の計算による求め方を理解していること。 ● 直方体の箱の形を構成する面について理解していること。 ● 直方体の三つの辺の長さを捉え、示された資料の条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること。	○立方体や直方体は一辺が１cmや１mなどの単位体積の立方体を積み重ねてつくることができることを理解し、その個数から体積を求めたりする学習の充実。 ○具体物を観察したり、構成したり、分解したりする活動を通して、図形を構成する要素に着目し、見いだした図形の性質を基に体積の計算による求め方を説明する学習の充実。
□「測定」 ・ 全国平均を下回っている。	● 示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。	○示された情報を図に整理して、数量を書き加えることで、数量関係を捉える学習の充実。
□「変化と関係」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ・	● 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができること。	○示された基準量に対して、様々な比較量がどれだけに当たるかを、図を通して考える学習の充実。
□「データの活用」 ・ 全国平均を下回っている。	● 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること。	○表やグラフを読み取って特徴や傾向を把握する前に、正しく集計できているかを確認し、誤りの有無の根拠を、表やグラフ、集めた資料の数を基に説明する学習の充実。